

情報工学系情報工学コース 学修課程

【修士課程】

人材養成の目的

現代社会に必要な情報基盤・情報システム・情報サービスに関する先端的な理論・技術における幅広い専門知識を身につけ、人間や社会との関わりの中で課題に対する解決方法をデザインし、新たに展開・実践することで国際的に貢献できる人材を養成する。

学修目標

本課程では、上記の目的の達成のために、次のような能力の修得を学修目標としている。

- 情報基盤・情報システム・情報サービスに必要となる最先端のハードウェア・ソフトウェアに関する深い専門知識と論理的思考能力
- 人間や社会との関りの中で要求されていることを理解し、社会に役立つシステムを構築するための幅広く豊かな教養と倫理観
- 課題の本質を見抜き、専門知識に基づく柔軟な発想で問題解決をする能力
- 国際的な貢献のためのコミュニケーション能力と指導力

学修内容

本課程では、「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために、次のような内容の学修を行う。

A) 情報工学の発展学修

400 番台科目の発展科目および 500 番台の自律科目の学修

B) 情報工学の応用学修

必修科目である情報工学特別演習など専門選択科目による理論の応用を学ぶ学修

C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

定期的オリエンテーション、助言教員との対面修学指導、研究室公開などを通じて主体的に取り組む力をつける学修

D) 社会との関わりを体験する学修

社会で活躍する講師陣らによる専門科目を通しておこなう体験学修や技術者倫理の学修

E) コミュニケーション能力の強化学修

修士論文作成に要求される文書化力と、講究・ゼミを通じた発表力の養成学修

修了要件

本コースの修士課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

1. 30 単位以上を大学院授業科目（400 及び 500 番台）から取得していること。
2. 本コースで指定された授業科目において、次の要件を満たすこと。
 - 講究科目を 8 単位取得していること。
 - 研究関連科目から情報工学特別演習・実験第一、第二を 2 単位修得していること。
 - コース標準学修課程の専門科目から
 - ・ A 群, B 群, C 群, D 群の 3 つ以上の群にまたがって 8 単位以上,
 - ・ もしくは, B 群と E 群の両方の群を含む 8 単位以上を取得していること。
 - 文系教養科目のうち 400 番台を 2 単位以上, 500 番台の科目 1 単位以上, キャリア科目から 2 単位以上を含み合計 5 単位以上修得していること。
3. 修士論文審査及び最終試験に合格すること。

表M1 に本コースにおける授業科目区分と修士課程修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目区分ごと、また科目群ごとに指定され、「必修科目単位」欄及び「選択科目単位」欄には科目選択にあたっての注記がある。「学修内容との関連」欄には科目と関連する学修内容を示す。履修申告にあたっては、科目と学修内容の関係を十分理解すること。

表M1 情報工学コース修士課程修了要件

科目区分		必修科目単位	選択科目単位	単位数	学修内容との関連	備考
教養科目群	文系教養科目		・ 400 番台から 2 単位以上 ・ 500 番台から 1 単位以上	5 単位以上	C	
	キャリア科目		2 単位以上		C, D	後述の GA を原則として全て満たすこと。
	その他					
専門科目群	講究科目	情報工学講究 S1 情報工学講究 F1 情報工学講究 S2 情報工学講究 F2 を各 2 単位, 合計 8 単位		コース標準学 修課程の専門 科目群から 18 単位以上	C, D, E	
	研究関連科目	情報工学特別演 習・実験第一, 同第二の 2 単位			D, E	
	専門科目		コース標準学修 課程の専門科目 から (1) A 群, B 群, C 群, D 群の 3 つ以上の群に またがって 8 単 位以上, もしく は, (2) B 群と E 群の両方の群を 含む 8 単位以上		A, B, C, D, E	
	コース標準学 修課程以外の 専門科目又は 研究関連科目					
修了単位合計		上記の条件を満たし, 30 単位以上修得すること				

【備考】

- ・ 文系教養科目, キャリア科目の詳細は, 「IV. 教養科目群履修案内」のそれぞれの章を参照すること。
- ・ 外国人留学生が受講可能である「日本語・日本文化科目」の授業科目を修得した場合, 対応する番台の文系教養科目としてみなすことができる。

授業科目

表M2に本コースの修士課程における専門科目群の授業科目を示す。表右端の備考欄にコース名が記載されている科目については、本コースが指定する他コースの専門科目等を示し、修得した場合、「科目区分」欄に記載された、本コースの標準学修課程の「専門科目」、「研究関連科目」として取り扱われる。

表M2 情報工学コース修士課程専門科目群

科目区分		科目コード	科目名			単位数	身に着ける力	学修内容	備考
講 究 科 目	400 番台	CSC. Z491. R	R ◎		情報工学講究 S1 (Seminar on Computer Science S1)	0-2-0	1, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室による
		CSC. Z492. R	R ◎		情報工学講究 F1 (Seminar on Computer Science F1)	0-2-0	1, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室による
	500 番台	CSC. Z591. R	R ◎		情報工学講究 S2 (Seminar on Computer Science S2)	0-2-0	1, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室による
		CSC. Z592. R	R ◎		情報工学講究 F2 (Seminar on Computer Science F2)	0-2-0	1, 3, 4, 5	E	講義言語は研究室による
研 究 関 連 科 目	400 番台	CSC. U471. L	L 選 択		情報理工学インターンシップ A (Internship A (Computing))	0-0-2	3, 4, 5	C, D, E	情報理工学院開講科目 (XC0. U471) 情報理工学院に所属する 学生のみ履修可
		CSC. U481. R	R ◎		情報工学特別演習・実験第一 (Workshop on Computer Science I)	0-0-1	1, 5	B, E	
		CSC. U482. R	R ◎		情報工学特別演習・実験第二 (Workshop on Computer Science II)	0-0-1	1, 5	B, E	
	500 番台	CSC. U571. L	L 選 択		情報理工学インターンシップ B (Internship B (Computing))	0-0-2	3, 4, 5	C, D, E	情報理工学院開講科目 (XC0. U571) 情報理工学院に所属する 学生のみ履修可
専 門 科 目	400 番台	CSC. T405. B	B ○	★ 0	Theory of Algorithms (アルゴリズム論)	2-0-0	1	A	数理・計算科学コース開講 科目 (MCS. T405) 0 奇数年度：英語開講 E 偶数年度：日本語開講
		CSC. T406. A	A ○	★ E	Distributed Systems (分散システム)	2-0-0	1, 5	A	数理・計算科学コース開講 科目 (MCS. T406) E 偶数年度：英語開講 0 奇数年度：日本語開講

		CSC. T416. B	B ○	★ E	Logic and Computation (論理と計算)	2-0-0	1	A	数理・計算科学コース開講 科目 (MCS. T416) E 偶数年度：英語開講 O 奇数年度：日本語開講
		CSC. T418. A	A ○	★ O	Practical Parallel Computing (実践的並列コンピューティング)	2-0-0	1, 5	A, B	数理・計算科学コース開講 科目 (MCS. T418) O 奇数年度：英語開講 E 偶数年度：日本語開講
		CSC. T421. D	D ○	★ O	Human Computer Interaction (ヒューマンコンピュータインタラクション)	2-0-0	1, 4, 5	A	O 奇数年度：英語開講 E 偶数年度：日本語開講
		CSC. T422. B	B ○	★ E	Mathematical Theory of Programs (プログラム理論)	2-0-0	1, 5	A	E 偶数年度：英語開講 O 奇数年度：日本語開講
		CSC. T423. E	E ○		システム開発プロジェクト基礎 第一 (Software Development Studio: Basic I)	0-2-0	3, 4, 5	A	
		CSC. T424. E	E ○		ソフトウェア開発演習 (Workshop on Software Development)	1-1-0	1, 5	B	
		CSC. T426. B	B ○	★ O	Software Design Methodology (ソフトウェア設計論)	2-0-0	1, 3, 4, 5	A	O 奇数年度：英語開講 E 偶数年度：日本語開講
		CSC. T427. E	E ○		システム開発プロジェクト基礎 第二 (Software Development Studio: Basic II)	0-2-0	3, 4, 5	B	
		CSC. T429. E	E ○		クラウドアプリケーション開発 演習 (Workshop on Cloud-based Application Development)	1-1-0	1, 4, 5	B	
		CSC. T431. A	A ○	★	Cyber-Physical Systems (サイバーフィジカルシステム)	2-0-0	1	A	
		CSC. T432. E	E ○		システム開発プロジェクト応用 第一 (System Development Studio: Advanced I)	0-2-0	3, 4, 5	B	
		CSC. T433. A	A ○	★	Advanced Computer Architecture (先端コンピュータアーキテク チャ)	2-0-0	1	A	
		CSC. T434. B	B ○	★	International PBL Course on Software Project Management (ソフトウェアプロジェクト管	0-0-2	1, 2, 3	B, E	

				理(国際PBL))				
CSC. T435. B	B ○			先端ソフトウェア工学 (Advanced Software Engineering)	2-0-0	1, 3, 5	A	
CSC. T437. E	E ○			システム開発プロジェクト応用 第二 (System Development Studio: Advanced II)	0-2-0	3, 4, 5	B	
CSC. T438. B	B ○	★		Distributed Algorithms (分散アルゴリズム)	2-0-0	1, 5	A	
CSC. T439. D	D ○	★		Augmented Reality (拡張現実感)	2-0-0	1, 5	A, B	
CSC. T441. L	L 選 択	★		Internet Infrastructure (インターネットインフラ特論)	2-0-0	1, 3, 4, 5	A	
CSC. T442. L	L 選 択	★		Internet Applications (インターネット応用特論)	2-0-0	1, 2, 3, 4, 5	A	
CSC. T443. L	L 選 択			コーチングとコミュニケーション A (Coaching and communication A)	0-2-0	3, 4, 5	E	
CSC. T454. L	L 選 択	★		Advanced Topics in Artificial Intelligence S (知能情報特別講義 S)	2-0-0	1	A	知能情報コース開講科目 (ART. T454)
CSC. T458. C	C ○ 0	★		Advanced Machine Learning (先端機械学習)	2-0-0	1	A	知能情報コース開講科目 (ART. T458) 0 奇数年度: 英語開講 E 偶数年度: 日本語開講
CSC. T459. C	C ○	★		Natural Language Processing (自然言語処理)	2-0-0	1	A	知能情報コース開講科目 (ART. T459)
CSC. T462. C	C ○	★		Complex Networks (複雑ネットワーク)	2-0-0	1, 5	A	知能情報コース開講科目 (ART. T462)
CSC. T463. D	D ○ 0	★		Computer Graphics (コンピューターグラフィクス)	2-0-0	1	A	知能情報コース開講科目 (ART. T463) 0 奇数年度: 英語開講 E 偶数年度: 日本語開講
CSC. T464. C	C ○	★		Information Organization and Retrieval (情報の組織化と検索)	2-0-0	1	A	知能情報コース開講科目 (ART. T464)
CSC. U472. L	L 選 択			情報理工学英語プレゼンテーシ ョン A (English Presentation Skills A (Computing))	2-0-0	3	E	情報理工学院開講科目 (XCO. U472)
CSC. T496. L	L	★		Advanced Topics in Computing	2-0-0	1, 2	B	情報理工学院開講科目

500 番台			選 択	★	AE (情報理工学特別講義 AE)				(XCO. T496)
	CSC. T497. L	L	選 択	★	Advanced Topics in Computing A0 (情報理工学特別講義 A0)	2-0-0	1, 2	B	情報理工学院開講科目 (XCO. T497)
	CSC. T498. L	L	選 択	★	Advanced Topics in Computing BE (情報理工学特別講義 BE)	2-0-0	1, 2	B	情報理工学院開講科目 (XCO. T498)
	CSC. T499. L	L	選 択	★	Advanced Topics in Computing B0 (情報理工学特別講義 B0)	2-0-0	1, 2	B	情報理工学院開講科目 (XCO. T499)
	CSC. T503. B	B ○	0	★	Programming Language Design (プログラミング言語設計論)	2-0-0	1, 3	A	数理・計算科学コース開講 科目 (MCS. T503) 0 奇数年度：英語開講 E 偶数年度：日本語開講
	CSC. T521. A	A ○		★	Cloud Computing and Parallel Processing (クラウドコンピューティング と並列処理)	2-0-0	1	A	
	CSC. T522. E	E ○			ソフトウェアプロジェクトマネ ージメントと品質管理 (Software Project Management and Quality Control)	2-0-0	1, 5	A	
	CSC. T523. D	D ○		★	Advanced Data Engineering (先端データ工学)	2-0-0	1, 5	A	
	CSC. T524. A	A ○		★	Dependable Computing (ディペンダブルコンピューテ ィング)	2-0-0	1	A	
	CSC. T525. B	B ○			先端情報セキュリティ (Advanced Information Security)	2-0-0	1, 2, 5	D	
	CSC. T526. B	B ○	E	★	High Performance Scientific Computing (高性能科学技術計算)	2-0-0	1, 4, 5	A	E 偶数年度：英語開講 0 奇数年度：日本語開講
	CSC. T527. B	B ○		★	Fault Tolerant Distributed Algorithms (フォールトトレラント分散ア ルゴリズム)	2-0-0	1	A	
	CSC. T543. C	C ○		★	Bioinformatics (バイオインフォマティクス)	2-0-0	1, 4	A	知能情報コース開講科目 (ART. T543)
	CSC. T544. L	L 選 択			知能情報特別講義 F (Advanced Topics in Artificial Intelligence F)	2-0-0	1	A, B	知能情報コース開講科目 (ART. T544)
	CSC. T547. D	D		★	Multimedia Information	2-0-0	1	A	知能情報コース開講科目

			○		Processing (マルチメディア情報処理論)				(ART. T547)
		CSC. T548. C	C ○	★	Advanced Artificial Intelligence (先端人工知能)	2-0-0	1	A	知能情報コース開講科目 (ART. T548)

・◎：必修科目，○選択必修科目，★英語で授業を行う科目，○：奇数年度英語開講科目，E：偶数年度英語開講科目
 ・身に着ける力：1，専門力 2，教養力 3，コミュニケーション力 4，展開力（探究力又は設定力） 5，展開力（実践力又は解決力）
 ・備考：他）▲▲コース開講科目（カッコ内は開講元のコースにおける科目コード）
 ・科目コードにおける「分野コード」は次の通り。（ABC.D400.Rの「D」の項目）U：実習科目，Z：講究科目，それ以外：専門科目
 ・専門科目の科目コードにおける「必修等コード（ABC.D400.Rの「R」の項目）」A～Eは科目群を表わす。

本コースの修士課程修了要件に記されるキャリア科目については、「IV.教養科目群履修案内ーキャリア科目」の表 MA-1 に示されている Graduate Attributes (GA)を原則として全て満たし、2 単位以上の単位を修得しなければならない。GA の修得状況については、修了時にコースで判定する。複数の GA が対応する科目については、当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

この GA を修得するために、キャリア科目に加えて、キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目として、表M3 の科目が用意されている。また、同様に他コース等がキャリア科目として用意する科目を履修した場合の単位についても、履修を認められた場合にはキャリア科目の単位としてみなすことができる。

なお、対応科目をキャリア科目として修了要件に含めた場合、専門科目として修了要件に含めることが出来ないので留意すること。

【参考】キャリア科目の履修案内より

表 MA-1 修士課程学生に求められる Graduate Attributes とは、次のとおりです。

COM：自らのキャリアプランを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係を含めて認識できる

C1M：学術・研究における誠実性について理解し、自身の専門能力を学術・科学技術の発展に活用し、専門能力が異なる他者と共同して課題解決に貢献できる

表M3 情報工学コース修士課程キャリア科目対応科目

対応科目 区分	科目コード	科目名	単位数	対応 する GA	学修 内容	備考
キャリア科目として みなすことが 出来る専門 科目	CSC. T423. E	システム開発プロジェクト基礎第一 (Software Development Studio: Basic I)	0-2-0	COM C1M	A	
	CSC. T427. E	システム開発プロジェクト基礎第二 (Software Development Studio: Basic II)	0-2-0	COM C1M	B	
	CSC. T432. E	システム開発プロジェクト応用第一 (System Development Studio: Advanced I)	0-2-0	COM C1M	B	
	CSC. T434. B	★ International Project for System Development (システム開発国際プロジェクト)	0-0-2	COM C1M	B, E	
	CSC. T437. E	システム開発プロジェクト応用第二 (System Development Studio: Advanced	0-2-0	COM C1M	B	

			II)				
CSC. T443. L			コーチングとコミュニケーション A (Coaching and communication A)	0-2-0	COM C1M	E	
CSC. U471. L			情報理工学インターンシップ A (Internship A (Computing))	0-0-2	COM C1M	C, D, E	情報理工学院開講科目 (XC0. U471) 情報理工学院に所属する学生のみ履修可
CSC. U472. L			情報理工学英語プレゼンテーション A (English Presentation Skills A (Computing))	2-0-0	C1M	E	情報理工学院開講科目 (XC0. U472)
CSC. T522. E			ソフトウェアプロジェクトマネジメントと品質管理 (Software Project Management and Quality Control)	2-0-0	COM C1M	A	
CSC. U571. L			情報理工学インターンシップ B (Internship B (Computing))	0-0-2	COM C1M	C, D, E	情報理工学院開講科目 (XC0. U571) 情報理工学院に所属する学生のみ履修可
上記科目の他，教養科目群キャリア科目から選択すること。（「IV. 教養科目群履修案内」参照）							

科目体系図

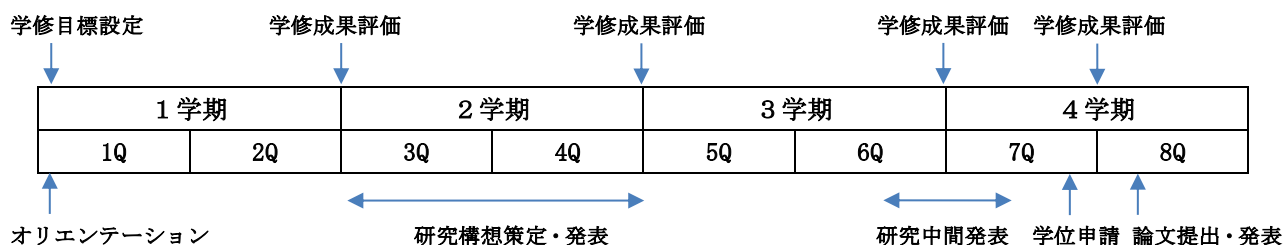
情報工学コース(修士課程)のカリキュラム体系								
	1①	1②	1③	1④	2①	2②	2③	2④
A群：計算機システム		Distributed Systems	Cyber-Physical Systems	Advanced Computer Architecture	Practical Parallel Computing		Dependable Computing	
					Cloud Computing and Parallel Processing			
B群：ソフトウェア	Mathematical Theory of Programs	Theory of Algorithm		International Project for System Development	High Performance Scientific Computing	Programming Language Design	Fault Tolerant Distributed Algorithms	
	Logic and Computation	Software Design Methodology		先端ソフトウェア工学			先端情報セキュリティ	
	Distributed Algorithms							
C群：人工知能		Advanced Machine Learning	Natural Language Processing	Information Organization and Retrieval	Bioinformatics	Advanced Artificial Intelligence		
				Complex Networks				
D群：認知工学	Human Computer Interaction			Computer Graphics		Advanced Data Engineering		
	Augmented Reality					Multimedia Information Processing		
E群：システム開発	システム開発プロジェクト基礎第一	システム開発プロジェクト基礎第二	システム開発プロジェクト応用第一	システム開発プロジェクト応用第二				ソフトウェアプロジェクトマネジメントと品質管理
	ソフトウェア開発演習	クラウドアプリケーション開発演習						
		Internet Infrastructure		Internet Applications				
		コーチングとコミュニケーションA						
	情報理工学英語プレゼンテーションA							
	修士論文研究							

標準的履修例

情報理工学院 情報工学系 情報工学コース（修士課程） 履修モデル										赤字：必修科目， 黒字：選択科目， 色なしセル：400番台科目， オレンジセル：500番台科目									
年次		1 年次								2 年次								単 位 数	
科目区分		第 1 Q		第 2 Q		第 3 Q		第 4 Q		第 1 Q		第 2 Q		第 3 Q		第 4 Q			
教 養 科 目 群	文系教養科目			リーダーシップ道場	1			ピアレビュー実践	1	世界を知る：ヨーロッパ	1							4	
	文理横断科目							横断科目 5	1										
	キャリア科目	修士キャリアデザイン	1			修士キャリアデザイン 演習	1											2	
専 門 科 目 群	専門科目	Logic and Computation (B群)	2	Software Design Methodology (B群)	2	Cyber-Physical Systems (A群)	2											6	
		Mathematical Theory of Programs(B群)	2	Advanced Machine Learning(C群)	2	Natural Language Processing (C群)	2											6	
										情報理工学英語プレゼンテーションA		2						2	
	研究関連科目	情報工学特別演習・実験第一			1	情報工学特別演習・実験第二			1									2	
	講究科目	情報工学講究 S 1			2	情報工学講究 F 1			2	情報工学講究 S 2		2	情報工学講究 F 2			2	8		
単位数		13			10			5		2			30						
		23								7									

修士論文研究

修士論文研究では、一連の研究プロセスを体験し、問題設定能力、問題解決力やコミュニケーション力の向上を目指す。そのための修士論文研究の流れを以下に示す。



・研究構想策定・研究中間発表

キャリア形成の観点で自身の研究の背景、目的等を明確に意識できるよう 3Q～4Q に「研究構想策定」を行い、6Q～7Q に「研究中間発表」を行う。研究構想策定後、コース標準学修課程の専門科目から 8 単位以上を取得すれば 600 番台専門科目の学修が可能となる。ただし、これらの単位は修士課程修了の要件として含むことが出来ないなので留意すること。

・修士論文審査基準

修士学位論文は、情報工学の学術分野における新しい知見を含むか、または情報工学技術の発展に貢献する有用な知見を含み、独自の考察を含んだ自著の論文でなければならない。

・修士論文審査実施方法

審査委員会は 3 名以上の審査員で構成される。審査員による事前査読の後、口頭発表を行って最終的な審査と評価を行う。博士後期課程に進学する者の審査は 5 名以上の審査員で行う。

修博一貫（修士課程・博士後期課程一貫）の教育体系

情報工学コースでは、修士課程で学んだ、情報工学分野に関する先端的な専門知識と技術、ならびに、より豊かな教養と国際コミュニケーション能力をさらに高い水準で修得することで、情報工学分野におけるリーダーとして国際的に活躍できる人材を養成することを目的とし、次のような能力の修得を学修目標としている。

- ・ 情報基盤・情報システム・情報サービスに関する幅広く深い専門知識を元に自ら新しい学問分野を切り開く能力
- ・ 自ら新しい問題を発見する能力
- ・ 技術的観点に加え、広く社会的観点からも自らの専門分野の状況を客観的に評価できる能力
- ・ 国際的な共同研究・開発をするために必要な強いリーダーシップ

【博士後期課程】

人材養成の目的

英語のプレゼンテーション科目により英語のコミュニケーション能力を高め、インターンシップ科目により技術の実践能力を高める。その他に、情報工学フォーラム科目を用意し、博士後期課程の学生による技術交流会や外部講師の招聘などの企画を自主的にたてさせ、企画の立案と運営を体験させ、あわせて幅広い視野の獲得を目指すように工夫している。さらに講究科目及び博士論文研究の遂行を通じて、高度な専門性を修得するとともに創造性をよりいっそう高めることができるようカリキュラムが構成されている。

学修目標

本課程では、上記の目的の達成のために、次のような能力の修得を修士課程より高い基準で学修目標としている。

- 情報基盤・情報システム・情報サービスに関する幅広く深い専門知識を元に自ら新しい学問分野を切り開く能力
- 自ら新しい問題を発見する能力
- 技術的観点に加え、広く社会的観点からも自らの専門分野の状況を客観的に評価できる能力
- 国際的な共同研究・開発をするために必要な強いリーダーシップ

学修内容

本課程では、「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために、次のような内容の学修を行う。

A) 専門分野を基軸とした課題発見・探究力

博士論文執筆に向けた研究分野のサーベイをおこなうことにより、研究分野の現状を俯瞰し、課題を発見する能力を学修する。

B) 専門的創造力・発信力

博士論文執筆に向けて、自らの専門分野への理解を深め、さらに新しいアイデアを着想する能力を学修するとともに、それを論文としてまとめ国際的な場で発表することにより発信力を高める。

C) リーダーシップ力

系で提供している博士フォーラム科目を通して、専門を異にするチームメイトと積極的に議論を行い、高度な討論をする能力について学修するとともに、リーダーとして多様な考えや意見を整理し、集約するための能力を学修する。

D) 先導力と起業家精神

インターンシップ科目やキャリア科目を通して、自分の専門分野と実社会の課題について理解と洞察を深め、自ら新しいプロジェクトを立ち上げる能力について学修する。

E) グローバル交渉力

系で提供している博士フォーラム科目や学院で提供している英語プレゼンテーション科目を通して、外国語で自らの主張をプレゼンテーションし、さらに議論する能力を学修する。

修了要件

本コースの博士後期課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

1. 24 単位以上を大学院授業科目（600 番台）から取得していること。
2. 本コースで指定された授業科目において、次の要件を満たすこと。
 - ・ 講究科目を 12 単位、取得していること。
 - ・ 文系教養科目のうち 600 番台を 2 単位以上、キャリア科目から 4 単位以上を含み合計 6 単位以上修得していること。
3. 博士論文審査及び最終試験に合格すること。

表 D1 に本コースにおける授業科目区分と博士後期課程修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目区分ごと、また科目群ごとに指定され、「必修科目単位」欄及び「選択科目単位」欄には科目選択にあたっての注記がある。「学修内容との関連」欄には科目と関連する学修内容を示す。履修申告にあたっては、科目と学修内容の関係を十分理解すること。

表 D1 情報工学コース博士後期課程修了要件

科目区分		必修科目単位	選択科目単位	単位数	学修内容との関連	備考
教養科目群	文系教養科目		2 単位以上	6 単位以上	B	後述の GA を原則として全て満たすこと。
	キャリア科目		4 単位以上		C, D	
	その他					
専門科目群	講究科目	情報工学講究 S3 情報工学講究 F3 情報工学講究 S4 情報工学講究 F4 情報工学講究 S5 情報工学講究 F5 を各 2 単位、 合計 12 単位		コース標準 学修課程の 専門科目群 から 12 単位以上	A, B, C, D, E	
	研究関連科目					
	専門科目					
	コース標準学 修課程以外の 専門科目又は 研究関連科目					
修了単位合計		上記の条件を満たし、24 単位以上修得すること				

【備考】

- ・ 文系教養科目、キャリア科目の詳細は、「IV. 教養科目群履修案内」のそれぞれの章を参照すること。
- ・ 外国人留学生が受講可能である「日本語・日本文化科目」の授業科目を修得した場合、対応する番台の文系教養科目としてみなすことができる。

授業科目

表D 2 に本コースの博士後期課程における専門科目群の授業科目を示す。表右端の備考欄にコース名が記載されている科目については、本コースが指定する他コースの専門科目等を示し、修得した場合、「科目区分」欄に記載された、本コースの標準学修課程の「専門科目」、「研究関連科目」として取り扱われる。

表D 2 情報工学コース博士後期課程専門科目群

科目区分		科目コード	科目名			単位数	身に着ける力	学修内容	備考
講 究 科 目	600 番台	CSC. Z691. R	R ◎		情報工学講究 S3 (Seminar on Computer Science S3)	0-2-0	1, 3, 4, 5	A, B	講義言語は研究室による
		CSC. Z692. R	R ◎		情報工学講究 F3 (Seminar on Computer Science F3)	0-2-0	1, 3, 4, 5	A, B	講義言語は研究室による
		CSC. Z693. R	R ◎		情報工学講究 S4 (Seminar on Computer Science S4)	0-2-0	1, 3, 4, 5	A, B	講義言語は研究室による
		CSC. Z694. R	R ◎		情報工学講究 F4 (Seminar on Computer Science F4)	0-2-0	1, 3, 4, 5	A, B	講義言語は研究室による
		CSC. Z695. R	R ◎		情報工学講究 S5 (Seminar on Computer Science S5)	0-2-0	1, 3, 4, 5	A, B	講義言語は研究室による
		CSC. Z696. R	R ◎		情報工学講究 F5 (Seminar on Computer Science F5)	0-2-0	1, 3, 4, 5	A, B	講義言語は研究室による
研 究 関 連 科 目	600 番台	CSC. U671. L	L 選 択		情報理工学インターンシップ C (Internship C (Computing))	0-0-2	3, 4, 5	C, D, E	情報理工学院開講科目 (XC0. U671) 情報理工学院に所属する 学生のみ履修可
		CSC. U672. L	L 選 択		情報理工学英語プレゼンテーシ ョン B (English Presentation Skills B (Computing))	2-0-0	3	E	情報理工学院開講科目 (XC0. U672)
		CSC. U681. L	L 選 択	★	Forum on Computer Science S3 (情報工学フォーラム S3)	0-0-1	2, 3, 4, 5	B, C, D	
		CSC. U682. L	L 選 択	★	Forum on Computer Science F3 (情報工学フォーラム F3)	0-0-1	2, 3, 4, 5	B, C, D	
		CSC. U683. L	L 選	★	Forum on Computer Science S4 (情報工学フォーラム S4)	0-0-1	2, 3, 4, 5	B, C, D	

			択						
		CSC. U684. L	L 選 択	★	Forum on Computer Science F4 (情報工学フォーラム F4)	0-0-1	2, 3, 4, 5	B, C, D	
		CSC. U685. L	L 選 択	★	Forum on Computer Science S5 (情報工学フォーラム S5)	0-0-1	2, 3, 4, 5	B, C, D	
		CSC. U686. L	L 選 択	★	Forum on Computer Science F5 (情報工学フォーラム F5)	0-0-1	2, 3, 4, 5	B, C, D	
専 門 科 目	600 番台	CSC. T643. L	L 選 択		コーチングとコミュニケーション B (Coaching and communication B)	0-2-0	3, 4, 5	E	
		CSC. T673. L	L 選 択	★	Advanced Topics in Computing C (情報理工学特別講義 C)	2-0-0	1, 2	B	情報理工学院開講科目 (XC0. T673)
		CSC. T674. L	L 選 択	★	Advanced Topics in Computing D (情報理工学特別講義 D)	2-0-0	1, 2	B	情報理工学院開講科目 (XC0. T674)

・◎：必修科目，○選択必修科目，★英語で授業を行う科目，○：奇数年度英語開講科目，E：偶数年度英語開講科目

・身に着ける力：1，専門力　2，教養力　3，コミュニケーション力　4，展開力（探究力又は設定力）　5，展開力（実践力又は解決力）

・備考：他）▲▲コース開講科目（カッコ内は開講元のコースにおける科目コード）

・科目コードにおける「分野コード」は次の通り。（ABC.D600.R の「D」の項目）U：実習科目，Z：講義科目，それ以外：専門科目

本コースの博士後期課程修了要件に記されるキャリア科目については、「IV.教養科目群履修案内ーキャリア科目」の表 A-1 または A-2 に示されている Graduate Attributes (GA)を原則として全て満たし、4 単位以上の単位を修得しなければならない。GA の修得状況については、修了時にコースで判定する。複数の GA が対応する科目については、当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

この GA を修得するために、キャリア科目に加えて、キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目として、表 B-1 または B-2 の科目が用意されている。また、同様に他コース等がキャリア科目として用意する科目を履修した場合の単位についても、履修を認められた場合にはキャリア科目の単位としてみなすことができる。

なお、対応科目をキャリア科目として修了要件に含めた場合、専門科目として修了要件に含めることが出来ないので留意すること。

【参考】キャリア科目の履修案内より

博士後期課程

表 A-1 アカデミックリーダー教育院（ALP）所属学生に求められる Graduate Attributes とは、次のとおりです。

A0D：自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる

A1D：現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる

A2D：社会における学術の位置づけと責任ある研究活動の概念を理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる

A3D：研究者が担う役割と社会的責任を理解し、教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を

担う後継を育成できる

表 A-2 プロダクティブリーダー教育院（PLP）所属学生に求められる Graduate Attributes とは、次のとおりです。

P0D：自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる

P1D：社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、責任ある研究活動を実践する上での法令・規則やポリシーに関する知識を持ち、将来の科学技術の発展をリードできる

P2D：異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる

P3D：技術者が担う役割と社会的責任を理解し、プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる

表 B-1 アカデミックリーダー教育院（ALP）情報工学コース博士後期課程キャリア科目対応科目

対応科目 区分	科目コード	科目名	単位数	対応 する GA	学修 内容	備考
キャリア 科目とし てみなす ことが出 来る専門 科目	CSC. U671. L	情報理工学インターンシップ C (Internship C (Computing))	0-0-2	A1D, A2D, A3D	C, D, E	情報理工学院開講科目 (XC0. U671) 情報理工学院に所属 する学生のみ履修可
	CSC. U672. L	情報理工学英語プレゼンテーション B (English Presentation Skills B (Computing))	2-0-0	A2D, A3D	E	情報理工学院開講科目 (XC0. U672)
	CSC. U681. L	★ Forum on Computer Science S3 (情報工学フォーラム S3)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	B, C, D	
	CSC. U682. L	★ Forum on Computer Science F3 (情報工学フォーラム F3)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	B, C, D	
	CSC. U683. L	★ Forum on Computer Science S4 (情報工学フォーラム S4)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	B, C, D	
	CSC. U684. L	★ Forum on Computer Science F4 (情報工学フォーラム F4)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	B, C, D	
	CSC. U685. L	★ Forum on Computer Science S5 (情報工学フォーラム S5)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	B, C, D	
	CSC. U686. L	★ Forum on Computer Science F5 (情報工学フォーラム F5)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	B, C, D	
上記科目の他、教養科目群キャリア科目あるいは他コースのキャリア科目から選択すること。（「IV. 教養科目群履修案内」参照）						

表 B-2 プロダクティブリーダー教育院（PLP）情報工学コース博士後期課程キャリア科目対応科目

対応科目 区分	科目コード	科目名	単位数	対応 する GA	学修 内容	備考
キャリア 科目とし てみなす ことが出 来る専門 科目	CSC. U671. L	情報理工学インターンシップ C (Internship C (Computing))	0-0-2	P1D, P2D, P3D	C, D, E	情報理工学院開講科目 (XC0. U671) 情報理工学院に所属 する学生のみ履修可
	CSC. U672. L	情報理工学英語プレゼンテーション B (English Presentation Skills B (Computing))	2-0-0	P2D, P3D	E	情報理工学院開講科目 (XC0. U672)
	CSC. U681. L	★ Forum on Computer Science S3	0-0-1	P0D, P1D,	B, C, D	

			(情報工学フォーラム S3)		P2D		
	CSC. U682. L	★	Forum on Computer Science F3 (情報工学フォーラム F3)	0-0-1	P1D, P2D, P3D	B, C, D	
	CSC. U683. L	★	Forum on Computer Science S4 (情報工学フォーラム S4)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	B, C, D	
	CSC. U684. L	★	Forum on Computer Science F4 (情報工学フォーラム F4)	0-0-1	P1D, P2D, P3D	B, C, D	
	CSC. U685. L	★	Forum on Computer Science S5 (情報工学フォーラム S5)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	B, C, D	
	CSC. U686. L	★	Forum on Computer Science F5 (情報工学フォーラム F5)	0-0-1	P1D, P2D, P3D	B, C, D	
上記科目の他，教養科目群キャリア科目から選択すること。（「IV. 教養科目群履修案内」参照）							

なお，リーディング大学院教育課程，リーダーシップ教育課程または卓越大学院教育課程を履修する者については，「IV. 教養科目群履修案内ーキャリア科目」に記載されている以外にキャリア科目とみなすことができる科目が用意されている場合がある。具体的な科目，履修要件等は，該当する教育課程の学修案内を参照のこと。

科目体系図

情報工学コース(博士後期課程)のカリキュラム体系												
	1①	1②	1③	1④	2①	2②	2③	2④	3①	3②	3③	3④
語学力 プレゼンテーション力	情報理工学英語プレゼンテーションB											
実践力 社会体験	情報理工インターンシップC					コーチングとコミュニケーションB						
企画力 リーダーシップ力	情報工学フォーラムS3		情報工学フォーラムF3		情報工学フォーラムS4		情報工学フォーラムF4		情報工学フォーラムS5		情報工学フォーラムF5	
	博士論文研究											

標準的履修例

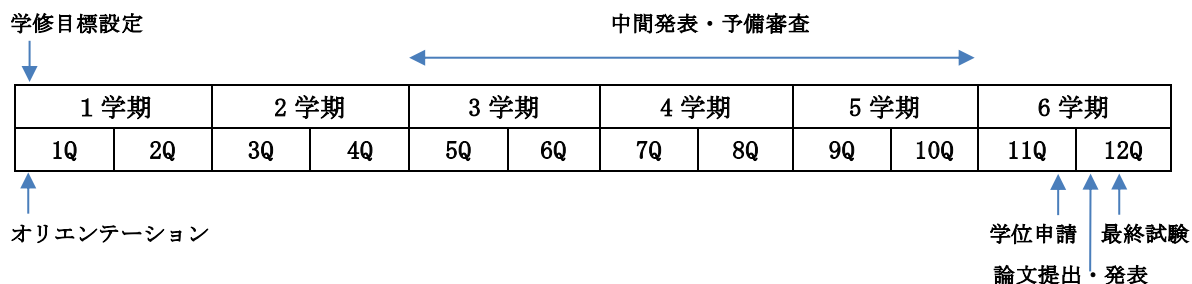
情報理工学院 情報工学系 情報工学コース（博士後期課程） 履修モデル

赤字：必修科目、黒字：選択科目、全て600番台科目

年次	1年次						2年次						3年次						単位数
科目区分	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q			
文系教養科目	学生プロデュース 科目1	1	先端教養科目1	1															2
教養科目群	キャリア 科目	1	博士キャリア プラン	1	ALP研修基礎	1	ALP研修I (ティーチング)	1											4
専門科目群	専門科目																		0
研究関連科目	情報工学フォーラムS3	1	情報工学フォーラムF3	1	情報工学フォーラムS4	1	情報工学フォーラムF4	1	情報工学フォーラムS5	1	情報工学フォーラムF5	1	情報工学フォーラムS5	1	情報工学フォーラムF5	1	6		
講究科目	情報工学講究S3	2	情報工学講究F3	2	情報工学講究S4	2	情報工学講究F4	2	情報工学講究S5	2	情報工学講究F5	2	情報工学講究S5	2	情報工学講究F5	2	12		
単位数	7		4		4		3		3		3		3		3		24		
		11				7				6									

博士論文研究

博士論文研究では、問題解決力に加えて、問題設定能力を培い、さらに英語によるコミュニケーション力の向上を目指す。これらは学修成果の設定と評価の過程で修得する。博士学位の取得までの流れを以下に示す。



・博士論文審査基準

博士学位論文は、情報工学分野における、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つ自著の論文でなければならない。

・博士論文審査実施方法

審査委員会は 5 名以上の審査員で構成されるものとする。中間発表および予備審査を経て博士論文を提出し、口頭発表をおこなう。審査員による博士論文の事前査読を経て、最終的な審査と評価を行う。最終試験では、英語の運用能力と当該分野の知識を確認する。